



2023年 9月23日
第32号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



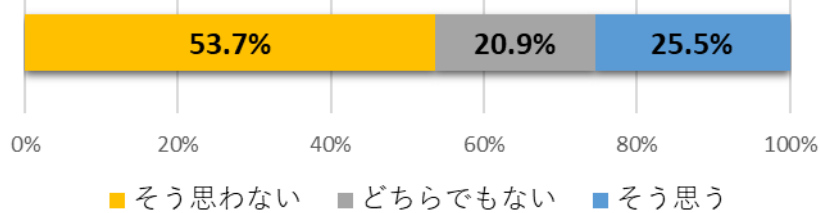
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第1号

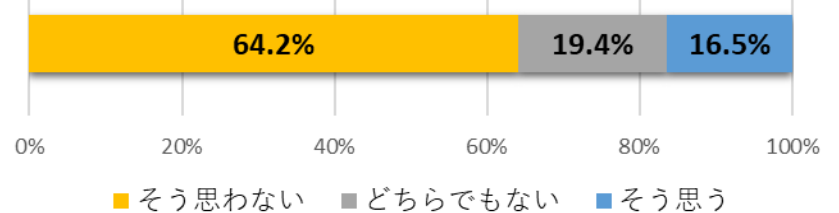
「JR東労組横浜地本第28回定期大会」発言に基づく申し入れ 「新たなジョブローテーション」施策の検証 Part 2

ジョブローテーション施策の検証アンケート途中経過

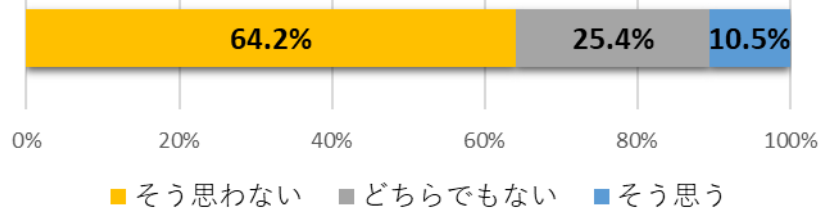
ジョブローテーションによる異動は、
自ら描いたキャリアプランに沿ったものでしたか？



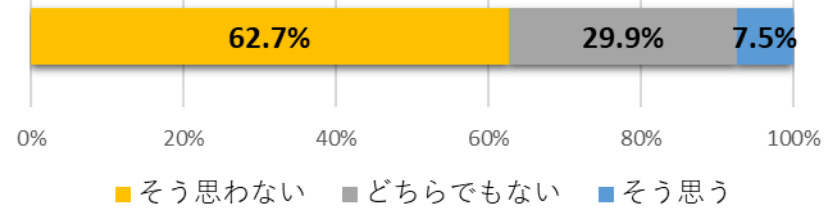
希望通りでなくても、異動先がキャリアプランに対する
「ステップ」になっていると感じますか？



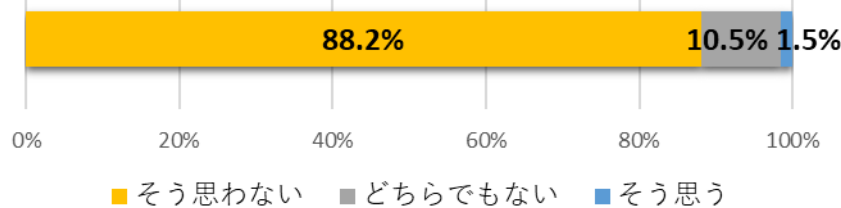
会社は「夢や希望を実現させ働きがいを向上させる」と
言いますが、実際「働きがい」は向上しましたか？



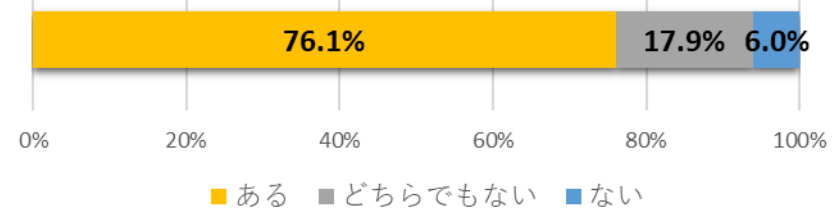
会社は「コミュニケーションを重ね希望を共有する」と
言っていますが、実際はどうでしたか？



「ジョブローテーション施策」によって、
安全・サービスレベルは向上していますか？



会社は「納得感が施策のポイント」と言っていますが、
納得感がありましたか？



**ジョブローテーションを担った社員の多くは、施策によって安全レベル・サービスレベルの低下と納得感が得られずモチベーションの低下を訴えている！
何のための施策なのか？施策の目的が完全に崩れている！**

管理者とのコミュニケーションの課題について ・秋の面談 15分で自分の進路が決められた。・面談以外に何か言われたことはない。・異動先について面談した管理者は「なんでだろう」と首をかしげていた。・会社は「新しい視野」「レベルアップ」しか言わない。・誠意ある説明はない。「駅がCS委員の配属を望み選ばれた。行けばキャリアアップになる」と言われたが、配属先ではそのような話はない。・面談以外でキャリアプランについて話すことはなかった。・面談以外で異動に関するコミュニケーションはない。・保育園の送り迎えなど相談したが配慮されることはなかった。・「支社が異動を望んでいる」「支社が言っている」と伝書鳩の様に言われた。

ジョブローテーション施策に対して感じていること ・リアル人生ゲームで遊んでいるとしか思えない。何をやりたいのかが全くわからない。・プロフェッショナルがいなくなり、安全・サービスレベルが下がっている。・安全を度外視した人数合わせで業務をさせられている。いつも綱渡り。・休職や退職が増えていることがこの施策の答え。・体調を崩し、仕事ができなくなった。私と家族の人生まで変わってしまった。・自らのキャリアプランを持ち希望を出しても最後は会社の都合。やらされ感しかない。・単なる要員の穴埋め・組合差別を感じる。・確実に社員の意欲をそいでいる。